

2023 グランドオペラフェスティバル in Japan

藤原歌劇団公演

蝶々夫人
Madama Butterfly

総監督: 折江忠道 General Artistic Director/Tadamichi ORIE

プッチーニ作曲 オペラ全2幕 <字幕付き原語(イタリア語)上演>

G.Puccini: MADAMA BUTTERFLY Opera in 2 Acts in Original Language

最愛の人を待ち続けて

ある晴れた日に

- 指揮: 星出 豊 Yutaka HOSHIDE
- 演出: 栗國安彦 Yasuhiko AGUNI
- 再演演出・振付: 立花寶山 Houzan TACHIBANA

蝶々夫人 伊藤 晴
Butterfly Hare ITOピンカートン 澤崎 一了
Pinkerton Kazuaki SAWASAKIシャープレス 折江忠道
Sharpless Tadamichi ORIEスズキ 但馬由香
Suzuki Yuka TAJIMAグロー 松浦 健
Goro Ken MATSUURAボンゾ 豊嶋祐壹
Bonzo Yuichi TOYOSHIMAヤマドリ 泉 良平
Yamadori Ryohei IZUMIケイト 北蘭彩佳
Kate Saika KITAZONO神官 坂本伸司
Commissario Shinji SAKAMOTO合唱: 藤原歌劇団合唱部
Fujiwara Opera Chorus Group管弦楽: パシフィックフィルハーモニア東京
Pacific Philharmonia Tokyo2023
8.27 日 14:00 開場 13:00
上演時間: 約2時間45分
*13:15 から会場内にて作品解説をいたします。

ベイシア文化ホール(群馬県民会館) 大ホール

・Ticket Information・

S席 ¥7,000 A席 ¥5,000 B席 ¥3,000 C席 ¥2,000 (税込)

一般発売 2023年6月2日(金) 10:00~

お問い合わせ・予約

日本オペラ振興会チケットセンター 03-6721-0874(平日10:00~18:00)
<https://www.jof.or.jp>

チケット販売所

- チケットぴあ <https://t.pia.jp>
- ローソンチケット <https://l-tike.com>
- イープラス <https://eplus.jp>

- ベイシア文化ホール(群馬県民会館)
027-232-1111
- 昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)
<https://www.maebashi-cc.or.jp/maebashishibun/>

蝶々夫人

G. Puccini

Madama Butterfly

Opera in 2 Acts in Original Language

愛を信じ裏切られ、悲しく散った

ちいさな蝶の儂い物語

1984年の新制作以来、藤原歌劇団が大切に受け継いできた栗國安彦演出の美しいプロダクションによる「蝶々夫人」をベイシア文化ホール(群馬県民会館)大ホールで公演します！

オペラ「蝶々夫人」は、日本を舞台にし「君が代」「お江戸日本橋」「宮さん宮さん」「かっぱれ」など、純日本旋律をふんだんに取り入れたプッチーニの色彩豊かな作品として、全世界で親しまれている名曲です。タイトルロールの蝶々さんには、日生劇場や各地公演でも同役を演じ高い評価を得ているソプラノの伊藤 晴が登場。ピンカートンには、同役での実績もあり、数々の藤原歌劇団公演で主演を演じてきたテノール、澤崎一了が務めます。シャープレスには、藤原歌劇団総監督でもあり日本を代表するバリトンとして活躍を続けている折江忠道が務めます。そのほかこれまで藤原歌劇団を支えてきた歌手たちと次代を担う歌手たちが、プッチーニの名曲をお届けいたします。指揮には、日本オペラ振興会(藤原歌劇団・日本オペラ協会)の公演を成功に導き数々の名演を生んだ日本の巨匠星出 豊が登場。管弦楽は、緻密なアンサンブルで高い評価を得ているパシフィックフィルハーモニア東京が担います。本プロダクションの新制作時に振付・所作指導として参画し、栗國亡き後もこのプロダクションを支えてきた立花寶山が再演演出として本来の舞台を蘇らせます。藤原歌劇団が39年間大切にしてきた「蝶々夫人」を、群馬の皆様にお届けいたします。

Cast



指揮：星出 豊



演出：栗國安彦



再演演出・振付：立花寶山



伊藤 晴
©Katsuhiko Kimura



澤崎一了



折江忠道



但馬由香
©Yoshinobu Fukaya



松浦 健



豊嶋祐壹
©Yoshinobu Fukaya



泉 良平



北園彩佳



坂本伸司

Story

長崎。没落士族の娘である蝶々さんは、母親との生活を支えるために芸者をしている。蝶々さんは女街のゴローに紹介されたアメリカ海軍の士官、ピンカートンと結婚式を挙げる。しかし、ピンカートンは蝶々さんを長崎に駐留する間の妾としか考えていなかった。

「次に駒鳥が巣を作るころには帰ってくる」と言い残してピンカートンが本国に帰って3年。蝶々さんはふたりの間に生まれた金髪の息子を育てながらひたすら彼の帰りを待っている。ある日、彼の乗った船が長崎の港に入る。喜ぶ蝶々さんだが、彼はアメリカ人の本妻ケイトを伴っていた。すべてを悟った蝶々さんは子供を彼らに託し、ひとり自害して果てるのだった。

文化庁「アートキャラバン事業」にて
八戸・仙台公演も開催決定!!

2023年8月13日(日) 14:00
八戸市公会堂ホール

2023年8月18日(金) 14:00
東京エレクトロンホール宮城
(宮城県民会館) 大ホール

Staff

合唱指揮・副指揮：須藤桂司 美術：川口直次 衣裳：緒方矩子
照明：奥畑康夫、西田俊郎 舞台監督：菅原多敢弘 演出助手：橋詰陽子